



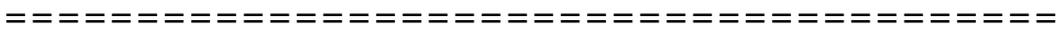
東北地域の和食文化メールマガジン

令和4年7月8日（金）第37号

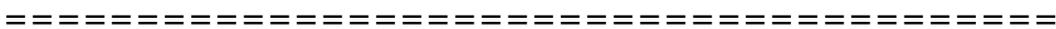


【目次】

1. 農林水産省 広報紙 a f f（アフ） 和食や日本酒と楽しむ国産チーズ
2. 和食会議「子ども和食セッション」（親子体験イベント）ご参加募集
3. 日本うま味調味料協会「第7回うま味調味料活用！郷土料理コンテスト」
参加者募集
4. 「第4回食べて応援しよう！in 仙台」の開催
5. 「食かけるプライス 2022」の募集



1. 農林水産省 広報紙 a f f（アフ） 和食や日本酒と楽しむ国産チーズ



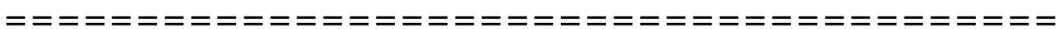
欧米の料理の食材としてイメージの強いチーズですが、実は、日本ならではの食材との相性も非常によいことをご存じでしたか？

農林水産省の今回の広報誌 a f f では、和食や日本酒とともに国産チーズを楽しむ方法を紹介します。

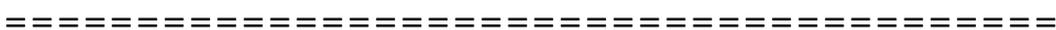
（農林水産省 HP）

広報紙 a f f（アフ）6月号はこちらから↓

https://www.maff.go.jp/j/pr/aff/2206/spe1_04.html#main_content



2. 和食会議「子ども和食セッション」（親子体験イベント）参加募集



一般社団法人和食文化国民会議は、7月24日（日）、お子さまに「和食」に触れる機会を提供し、興味・関心を高めていただくことを目的に、「子ども和食セッション」を開催いたします。

夏休みの体験イベントとして自由研究等にも役立つ内容で、保護者の方も一緒に「和食っていいね」を体感していただければと思います。（保護者・こども2人1組での参加となります）参加募集人数は、午前の部・午後の部を合わせて100組（200名）となっております。

募集締切日は7月14日（木）。ただし、お申込み人数が100組に達した時点で募集終了とさせていただきます。

（一般社団法人和食文化国民会議HP）

「子ども和食セッション」の詳細はこちらから↓

<https://washokujapan.jp/kodomo-session/>

=====

3. 日本うま味調味料協会「第7回うま味調味料活用！郷土料理コンテスト」 参加者募集

=====

日本うま味調味料協会では、

- ・うま味調味料を活用して郷土料理を減塩でよりおいしく！
- ・あなたのオススメの郷土料理の魅力を次世代へ伝えよう！

とのテーマで、「第7回うま味調味料活用！郷土料理コンテスト」参加者を募集しています。（エントリー締め切りは8月31日（水））

（日本うま味調味料協会HP）

「第7回うま味調味料活用！郷土料理コンテスト」の詳細はこちらから↓

<https://www.umamikyo.gr.jp/contest/2022/index.html>

=====

4. 「第4回食べて応援しよう！in 仙台」の開催

=====
東北農政局は、東日本大震災の被災地で生産された農林水産物等の積極的な消費を呼びかける「食べて応援しよう！」の取り組みの一環として、「第4回 食べて応援しよう！ in 仙台」を開催します。

東北地域の震災からの復興、農林水産物の風評払拭のため、岩手県、宮城県及び福島県の被災3県の農林水産物や加工食品など販売する場を提供し、被災地の復興を応援します。

日時：令和4年7月30日（土曜日） 10時00分～16時00分
7月31日（日曜日） 10時00分～15時00分

場所：勾当台公園市民広場（宮城県仙台市青葉区）

内容

- (1) 岩手県、宮城県及び福島県の農林漁業者及び食品事業者等40店による農林水産物、加工食品等の販売
- (2) 東日本大震災からの復旧・復興の現状や、農業や食に関する情報のパネル展示
- (2) 「～食べつくせ！～ TOHOKU 食の応援大使」である“みちのく仙台 OR I☆姫隊”等による被災地を応援するステージイベント

=====
5. 「食かけるプライズ 2022」の募集
=====

農林水産省は、訪日中に食に関わる体験をした外国人が帰国後も日本の食を再体験できるような環境整備を図り、日本産農林水産物・食品の輸出拡大につなげていく「食かけるプロジェクト」を推進しています。

本プロジェクトの一環として、国内の食と旅・歴史等を組み合わせた体験事例を全国各地から募集し、表彰する「食かけるプライズ 2022」の募集を開始しました。

募集内容は、訪日外国人向けに、食体験を商品化（販売）されている又はファムトリップ等で提供したことがある日本の食・食文化を深く知ることができる食体験を募集します。

今年度は、5月20日（金）～7月18日（月・祝）の期間で受付が行わ

れています。

以下の Web サイトに掲載していますので、ご覧いただき、ぜひ、ご応募ください。

(農林水産省 HP)

「農泊 食文化海外発信地域」の詳細はこちらから↓

<https://www.maff.go.jp/j/press/shokuhin/wasyoku/220520.html>

~~~~~

- 東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局

東北農政局経営・事業支援部地域食品・連携課

担当：佐藤（成）、小田桐

T E L : 022-221-6403 (ダイヤルイン)

F A X : 022-722-7378

メールアドレス：[keisyonw-tohoku@maff.go.jp](mailto:keisyonw-tohoku@maff.go.jp)

~~~~~

- ★ <農林水産省の Web サイト（和食文化ネットワーク）>

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

~~~~~

- ★ 東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

~~~~~

【目次】

1. 農林水産省 表彰事業の御案内

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始

2. しょうゆ情報センター「木桶による発酵文化サミット」動画配信

3. (公財)全国税理士共栄会文化財団 助成募集について

=====

1. 農林水産省 表彰事業の御案内

「ディスカバー農山漁村(むら)の宝アワード」募集開始

=====

農林水産省では、「強い農林水産業」、「美しく活力ある農山漁村」の実現を推進しています。

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」は、農山漁村が持つポテンシャルを引き出して地域の活性化や所得向上に取り組んでいる優良な事例を選定・発信し、他地域への波及を図る取組です。

このため、地域の活性化や所得向上に熱心に取り組んでおり、また他の地域での取組参考となるような素晴らしい取組事例を募集します。（第9回選定：8月26日（金）まで募集）

選定された地区については、選定証の授与を行うとともに、「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」特設 Web サイトでの活動の紹介などを通じた全国的な情報発信で紹介を行っていきます。

団体用記載例②として「団体・食文化、伝統の承継」がありますので、御参考の上、奮って御応募ください。

* 本年度から「地産地消優良表彰」は、本表彰事業に統合されました。

(農林水産省 HP)

「ディスカバー農山漁村（むら）の宝」の詳細はこちらから↓

<https://www.maff.go.jp/j/press/nousin/kouryu/220616.html>

【お問い合わせ先】

東北農政局経営・事業支援部地域食品・連携課 佐藤（成）、高橋

T E L : 022-221-6403 (ダイヤルイン)

メールアドレス : keisyonw-tohoku@maff.go.jp

=====

2. しょうゆ情報センター「木桶による発酵文化サミット」動画配信

=====

2012年に小豆島・ヤマロク醤油5代目・山本康夫氏が中心となって立ち上げた“木桶職人復活プロジェクト”では、毎年1月に小豆島で、新桶作りを中心とした「木桶による発酵文化サミット&フェスティバル」を開催しています。

今年も1月に開催され、木桶復活に懸ける熱い思いや木桶作りに元気に取り組む姿が伝わって来る動画（17分15秒）をご覧ください。

(しょうゆ情報センターHP)

「木桶による発酵文化サミット」動画配信はこちらから↓

<https://www.soy sauce.or.jp/news/132214>

=====

3. (公財) 全国税理士共栄会文化財団 助成募集について

=====

一人ひとりが暮らす地域社会の文化は、人々にとって生きる自信や誇りを与えるものであり、その主体性を確立していく必要があります。特に心のふるさとを求めて地域文化の再認識が現在各地で求められているところです。

こうした考えに基づき、公益財団法人全国税理士共栄会文化財団では、食文化分野を始めとする地域文化の活動に対し助成を行います。

- ・募集方法：推薦制公募方式（都道府県、学識経験者、報道機関等の推薦）
- ・助成対象：④食文化分野
地域における食文化に関わる技能及び技法、並びに継承者の育成等を図るための活動などに努力している個人または団体
- ・申請方法：本財団所定の用紙に必要事項を記入してお申し込み
- ・選考方法：選考委員会の審査を経て、理事会で決定
- ・申請締切：10月末日（当日消印有効）

(一般社団法人 和食文化国民会議 HP)

公益財団法人全国税理士共栄会文化財団助成募集の詳細はこちらから↓

<https://washokujapan.jp/info/info-20220609/>

~~~~~

- 東北地域の和食文化メールマガジンへの御意見・御要望をお待ちしております。

問い合わせ先：東北地域の和食文化ネットワーク事務局

東北農政局経営・事業支援部地域食品・連携課

担当：佐藤（成）、小田桐

T E L : 022-221-6403 (ダイヤルイン)

F A X : 022-722-7378

メールアドレス：[keisyonw-tohoku@maff.go.jp](mailto:keisyonw-tohoku@maff.go.jp)

~~~~~

- ★ <農林水産省の Web サイト (和食文化ネットワーク) >

<https://www.maff.go.jp/j/keikaku/syokubunka/network/main.html>

~~~~~

- ★ 東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

~~~~~

- ★ 東北農政局や農林水産省では、このほかにもメールマガジンを発行しております。

配信を御希望される方は、御登録をお願いします。

⇒ <https://www.maff.go.jp/j/pr/e-mag/index.html>

~~~~~